

高津区おはなしアーカイブ

- 田邊 友子 (たなべ ともこ)さん
昭和18年生まれ 75歳
川崎市高津区北見方在住



◆家族の話

ここ北見方で生まれ、私は兄弟がいなく、ひとりっ子なんです。家族は両親と祖父と父の妹である叔母との5人暮らしでした。

祖父は、足が悪く私の記憶では寝たきりでした。母は大きな人だったのでトイレも抱っこして連れて行って行っていました。祖父は、私が小学校5年生の時に亡くなりました。祖父も身体が大きかったので母は本当に大変でした。叔母も身体が弱く、歩けなかったので、母は同じように面倒をみていました。

母は世田谷の農家からこちらに嫁いできました。女ばかり6人の六番目。昔は皆奉公に出たでしょ、母はすごい達筆で弁もたつ人で、奉公先でも書き物の仕事をしていましたそうです。

父は物静かな人で母に従っていました。日本通信の勤め人から役所に移り、勤めあげて64歳で亡くなりました。弟の方がもっと早く亡くなって、女が元気に暮らしています。母は94歳で亡くなりました。

◆いとこと姉・弟・妹のように育つ

ひとりっ子でしたが、家の敷地内に分家で父の弟が住んでいて、いとこに4つ下の男の子、3つ下の女の子がいて、姉、弟、妹のように育ちました。楽しかったです。今も近くにいる、仲良しです。

◆高津初の2階建ての家

昔、うちは2階建てで、回り廊下があって、トイレも2階にありました。昭和3年に建てられ、2階建ての家は、高津で初めてだったそうです。祖父は元気な頃は材木商をしていましたから。2階からは富士山が望めて、自慢だったみたいです。

父は、勤め人でしたが、その弟は大工さん。親戚は大工さん系統が多くて、今住んでいる家は父の弟の子ども（3つ下のいとこ）が建ててくれました。

◆東高津小学校が開校

小学校は高津小学校に入学しました。でも10月に東高津小学校が開校して、高津駅から北見方方面はすべて東高津小学校に移ったんですね。1年生から6年生まで、

それぞれ4組。1クラス50人、1学年200人いたから多かったわね。

会社の跡地に建てた新しい学校だったんです。砂利がすごくて、勉強や遊んだことより、学校に行って砂利を片づけていたことばかり覚えています。二部制で、着物を着て学校に来ている子もいましたね。

◆子どもの頃の遊び

小学生の頃は、家の前のどぶ川で、魚やエビをとって遊びました。エビはゆでて、ドジョウもとって食べました。田んぼではタニシもとれ、これも食べましたね。

女の子は、昼間はゴムとびやかくれんぼをしました。男の子はベーゴマやコマ回しをしていましたね。従弟はすごく上手で、ついこの前までベーゴマを持っていましたよ。

そうそう、夕ご飯を食べ終わって8時頃から影ふみをしました。電柱などで影ができるでしょ。夜は涼しいしね。男の子も女の子も一緒に集まって影ふみしましたね。

夏は多摩川で泳ぎました。蟬取りもしました。冬は、雪がふると南天の実で目をつけて雪うさぎを作って遊びました。

◆1軒の家に集まってお茶作り

このあたりはみな農家で、田んぼがずっと広がっていました。うちは、田んぼはなかったけど家に桃やお茶の木がありました。

お茶は、収穫してから1軒の家に集めて皆の家の分をまとめて蒸して作りましたね。桃や柿は自分でもいで食べていました。それがおやつでしたから(笑)。

うちは農家ではなく、父は勤め人でしたが、家で食べる分のキュウリ、ナスなどいろいろな野菜を作っていました。父は長いものを作るのがとても上手でした。

◆いかの入ったカレーライス

食べていたもので覚えているのは、イカの入ったカレーライスです。お肉なんてなかなか手に入らないからすめを柔らかくして入れてあって、あれは忘れないわ。

小学校は給食でした。でも脱脂粉乳とコッペパンとクジラカツくらいしか覚えていません。家では毎日麦ごはん、高校生の頃は、お弁当をもって行くのが嫌でね。まわりはみんな白米だったから。

◆中学・高校時代

中学、高校までは歩いて通っていましたね。でもあまり学校の友達と一緒に遊んだ記憶はないんですね。うちは病人がいたからでしょうね、親がなかなか家をあけられなかったんです。だから、いとこたちや親戚と一緒に夏は海に連れて行ってもらったり、潮干狩りに行ったりしました。

中学生くらいの時に、近所に肉・魚屋ができて、そのお使いによく行きました。魚屋さんは同級生の家がやっていて、よく手

伝いもしましたよ。牡蠣の触感が気持ち悪くて、最初は持てなかったけど、だんだん慣れてきて、量り売りを手伝っていました。

少し先には着るものを売っているお店もできました。親戚ではないですが「たなべや」というお店でした。このあたりの姓は、田辺、黒川、戸張なんです(笑)。

それから植木屋さんがトラックに植木を積んで行商にきていました。

高校生になると、溝口も賑やかになって、学校帰りに駅前で「今川焼」を食べた記憶があります。今はそのお店はないですが、本当においしくて、今でも友達と会うといつも「あれ、おいしかったね」とその話になります。

高校時代の友達とは、今の方が仲良くして、月に1回、見頃の花の咲く庭園に行ったり、いろんなところに出かけて楽しんでいきますよ。

◆戦争のこと

18年生まれですから戦争の記憶はないんです。父も戦地には行っていません。

戦後を思い出して友達は「すいとんがおいしかった」って言うんですけど、私は、すいとんを食べた記憶がないんです。

このあたりは、日本通信という大きな会社があったことで戦火からは逃れ、爆撃も逃れたのでは、と聞いています。

家の敷地内に防空壕がありました。私は入った記憶はないんですが、大きくなって

思い起こすと、そこにはお野菜が入れてあったんです。野菜を保管するムロとして使っていたんですかね。

◆祭りの様子

父は、お祭りの囃子をやっていました。太鼓をたたいたり、笛を吹いたり、踊ったり、20人くらいで櫓の上に乗ってやっていました。終わると、我が家で母が煮しめを作ってふるまっていました。お祭りには屋台も出て賑やかでしたね。

お正月には父は獅子舞で近所を回って、それにくっついていくのも楽しみでした。獅子舞の着物は、病弱な叔母が縫っていたんです。すごく頭のいい叔母でした。

うちが建て替えをした時にお囃子で使っていた太鼓などが出てきたんです。整理をして、良いものはずっと使ってもらおうよう町会に渡しました。

◆高校卒業後は

私は、高校を出てから自分で就職先を見つけ、武蔵小杉にあった自動車部品工場の現場事務の仕事に就きました。キーパンチャーですね。あの頃は女性に車の免許は取らせてくれませんでした。

バスで通っていて、工場は今の関東労災病院近くの公園になっているあたりにあって、会社の支社が広島にあったんです。

従業員を大事にしてくれる会社で、忘年会の日は朝から仕事はなく、掃除をしてい

るうちに支社のある広島から取り寄せた牡蠣が届くんです。あの牡蠣はおいしかったあ…。

届いた牡蠣は家に持ち帰って、それからおめかしして平和島の忘年会会場に行ったんですね。忘年会は、豪勢でしたよ。旅行もすごいところに連れていってもらいました。昭和30年代後半のことです。

遊びにいった記憶は東京の「うたごえ喫茶」に行ったことくらいですね。

結婚を契機に退職し、4人の子どもに恵まれました。

◆今は町会の女性部に所属

今は、町会の仕事をしています。4年目になります。女性部があって、数名でお祭りの時にはそうめんを茹でたり、おにぎりを作ったり裏方で賄いを担当しているんです。こういう女性部がいなかったらお祭りはできないですよ。町会の仕事は楽しいです。

◆遠くなった多摩川

多摩川は、今は遊泳禁止です。水も少なくなっただけ。昔は河川敷でアイスを売ったりしていましたね。

子どもが小さい時は、よく行ったけど、最近はほとんど行かなくなってしまいました。電車から見る程度なんです。

今、町会では、西日本の災害の状況を見て「多摩川が決壊したらどうしよう」がすごく話題になっています。

(平成30年7月11日取材)